

しまだ 議会だより

No.35

6月定例会

2012(平成24)年8月13日発行

発行 島田市議会

〒427-8501 静岡県島田市中央町1番の1

☎ (0547) 36-7204

FAX (0547) 37-2212



20周年を迎えた
ばらの丘公園

目次

P 16	P 14	P 13	P 12	P 9	P 8	P 2
特別委員会の設置ほか	議決結果一覧&議会報告会の開催報告	採決結果一覧&定例会の概要	特別委員会の最終報告	常任委員会の報告	議案質疑	一般質問& 平成24年9月定例会の日程

一般質問

11人の議員が市政を問う

P3 八木 伸雄 議員

- 新東名を生かした観光対策は？
- 河川敷グラウンドの整備を求める

P4 佐野 義晴 議員

- 市民が反対しても、病院は移転か？

P5 藤本 善男 議員

- 生活道路の改良は歩行者の目線で
- 分かりやすい検査結果の公表を

P6 星野 哲也 議員

- 市の公営駐車場の拡張は？
- すぐやる課の業務内容は？

P7 桜井 洋子 議員

- 保育園の待機児対策を急げ！
- 最終処分場の安全管理を徹底すべき

P8 松本 敏 議員

- 校舎・体育館など学校の耐震を急げ
- 指定管理者制度の選定過程を透明に

P3 仲田 裕子 議員

- 金谷庁舎および周辺の整備
- 納税通知に伴う支払方法

P4 大石 節雄 議員

- 中山間地域は市民全体の財産

P5 橋本 清 議員

- 防災・減災対策を早急に！
- 市営霊園の今後は？

P6 平松 吉祝 議員

- 減災に向けた防災対策を

P7 清水 唯史 議員

- 防災情報伝達を確実に！
- S L フェスタ開催で地域の活性化を

質問は、一定時間内に一件ずつ行う「一問一答」方式と複数の質問を一括して行う「包括」方式（質問回数は3回まで）があり、質問する議員が選択します。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

平成24年9月定例会の日程

平成24年第3回（9月）市議会定例会の日程は次のとおりです。本会議、常任委員会の傍聴にお越しください。いずれも午前9時30分開会予定です。

8月31日（金）本会議（議案上程）	9月13日（木）本会議（議案質疑）
9月10日（月）本会議（一般質問）	9月14日（金）常任委員会
9月11日（火）本会議（一般質問）	9月18日（火）常任委員会（予備日）
9月12日（水）本会議（一般質問：予備日）	9月28日（金）本会議（最終日）

なお、この予定は変更されることがあります。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

新東名を生かした 観光対策は？



やぎのぶお
八木伸雄 議員
(二問一答)

問 新東名島田金谷イン
ターが開通し、観光産業
の発展のための環境は整
った。市の対応は。

答 島田大祭帯まつり、
大井川マラソンなどで入
込客の満足度も高まり、
流入人口を
増やした。
より一層の
観光振興に
つなげたい。

問 エリア
が広がった
観光客に対
応するには、
市内の観光
資源だけで
は不十分だ。
観光資源の
充実を図る
ために川根
本町、静岡
市との連携



開通した新東名

答 島田大祭帯まつり、
大井川マラソンなどで入
込客の満足度も高まり、
流入人口を
増やした。
より一層の
観光振興に
つなげたい。

象にモニターツアーを計
画したい。大井川鐵道、
川根本町とも連携し、川
根温泉のホテルをベース
キャンプとしたい。

問 河川敷はグラウンド
ゴルフ、野球、サッカー
などに利用され、青少年
の健全育成や高齢者の健
康対策に大きく貢献して
いる。安全な利用環境を
つくるのが重要だ。整
備状況はどうか。

答 河川敷のスポーツ広
場は、市の直接管理と利
用者の管理するものがあ
るが、いずれも良好な管
理状況である。

問 グラウンドの側道の
簡易舗装を望む声があるが
予算的に厳しいので
砕石で対応している。

問 初倉河川敷への進入
路、スポーツ少年団のグ
ラウンドのベンチ整備も
すべきだ。

答 進入路は計画してい
る。ベンチなどは要望に
対応していきたい。

河川敷グラウンド の整備を求める

金谷庁舎および 周辺の整備



なかだゆうこ
仲田裕子 議員
(一問一答)

問 金谷庁舎の整備計画
はどうなるのか。

答 国会で継続審議中
である合併特例債の発行期
限延長にかかわる法案の
状況等を踏まえながら、
住民福祉の増進を目的と
する施設整備を検討する
中で、教育委員会事務局
の配置を含め慎重に対応
していく考えである。

問 教育委員会を金谷庁
舎解体後も今の場所に設
置する考えは変わって
いないか。

答 市長、教育長および

庁舎で仕事
をしている
職員等の総
意として変
わっていない
。

問 今後、
雨漏りの激
しい福祉施
設は、どう
なるのか。

答 9月議
会に解体予
算を計上し、
解体後の跡
地を福祉関
係団体に貸
す。施設は自らの資金で
建設していただく予定で
ある。

問 福祉施設の解体中と
建設中の仮施設の問題を
伺う。

答 仮施設は、今の金谷
庁舎の1階を仕切って、
完成するまでお貸しする。



雨漏りのする障害者支援福祉施設

問 納税通知に伴う
支払方法

問 納税通知書に島田市
のバーコードをつけるな
ど、納税がスムーズに行
えるような検討をしたか。

答 システムの改修、金
融機関との調整、コンビ
ニとの交渉など、やると
決定した場合でも、早く
て平成26年度からとなる。

問 コンビニにおける納
税は、藤枝市、焼津市、
掛川市などが行っている。
利便性は増大するが、収
納率はあまり上がらない。
しかも、手数料とのバラ
ンスが取れないなどの課
題があり検討している。

問 納税者が納税しやす
べきと考えるが結論は
いつ出すのか。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

市民が反対しても、

病院は移転か？



さの よしはる
佐野義晴 議員
(一問一答)

問 将来の財政負担を少なくするために、現在の病院を改築して再利用することはできないか。

答 病院は築後34年経過して、配管等が古くなっている。再利用率は難しい。新築で対応する。

問 再利用よりも新築の方を「了」とする経緯を、市民にもっと分かりやすく説明すべきと考える。

答 説明は考えていない。現在地で建て替える場合と、移転とを比較した違いや意義・成果等が分かる説明を求める。

問 まちなか移転を前提に資料を作っている。

答 現在地で建て替える場合の事業費は、これまで150億円を上限とするめどがあった。移転する場合の上限額の歯止め

はあるのか。事業規模を伺う。

答 建設費の試算は行っていない。

問 これまで、病院移転と大学誘致は一体的に進めると聞いている。もしも誘致問題が計画どおり進まない場合、病院の建設計画はどうなるのか。

答 病院の移転が前提で、移転がでさなければ誘致の可能性は低い。

問 病院移転の関連予算が、来年の2月定例会に提案さ

れる予定であるが、ジャスコ跡地以外に土地の買い増し計画はあるのか。

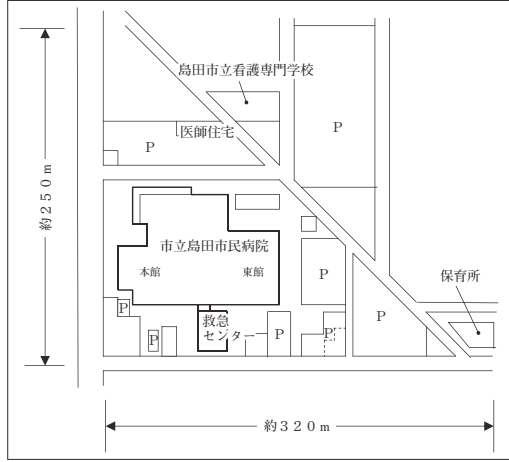
答 確定的なものはない。ジャスコ跡地で考えている。

問 病院建設を前提に、移転するよりも現在の場所の方が良いとする意見が多い場合、どのような判断をするのか。

答 市が考える総合的な判断から、まちなかに移転する。

問 反対者が多くても、これまでどおりに行政主導を進めるか。

答 移転する基本計画は変わらない。



現島田市民病院建物配置図

中山間地域は市民全体の財産

おおいせつ お
大石節雄 議員
(一問一答)



果は非常に高いと考えている。

問 中山間地域が持つさまざまな機能の恩恵を受けているのはどのような地域か。

答 下流域の市民の財産など、豊かな暮らしを守っていると考え。また、水源の確保、動植物の保護、CO2の削減など、環境面においても恩恵を受けていると思う。

問 中山間地域の抱える課題、問題は何か。

答 若者の都市への流出に伴う後継者不足、耕作放棄地の増加およびコミュニティ機能の維持は重要な課題である。

問 耕作放棄地や市営住宅の空き地を住宅地として売却できないか。

答 優良農地は宅地に転用が難しい。市営住宅は、島田市公営住宅ストック総合活用計画に基づき、統廃合等含めて整理をしたい。場合によっては民間へ売却することも視野に入れている。

問 中山間地域振興条例等検討する考えはないか。

答 中山間地域の役割を市民全体で共有し、市民全体で理解することは、重要と考える。条例の制定については、今後調査研究していきたい。



作業困難な急勾配の中山間農地

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

生活道路の改良は 歩行者の目線で



ふじもとよしお
藤本善男議員
(一問一答)

問 市内では、相次いで重大な事故が発生している。どのような状況か。
答 平成23年の交通事故発生件数は852件で前年比78件の増加、死者は7人で前年比4人減少。平成24年1～5月は324件で死者は3人。

問 自治会からの安全施設に対する要望は年間どのくらい出ているか。
答 平成23年度は450件出されており、そのうち71%にあたる318件が対応済である。

問 生活道路の改良事業の



路肩の幅を広くして安全確保 (中央公園道線)

うち、歩行者のための事業への取り組みは。
答 金谷地区1・22ヘクタールを、生活道における人優先の安全対策が必要な「あんしん歩行エリア」と決め、交通安全対策工事を行う。

分かりやすい検査 結果の公表を

問 災害廃棄物受け入れの進捗状況は。

答 岩手・宮城両県の広域処理の対象は247万トンだが、そのうち14万トンが処理済または処理先確定であり、全体の進捗率は約6%である。

問 岩手県と静岡県の協議が整えば、本市の本格受け入れは可能か。
答 定期点検が終了し、2炉の運転が可能になれば、受け入れは可能な体制である。

問 本格受け入れにあたっては、日々処理されていくものが常にどういう状態であるかが理解できるよう、分かりやすい情報開示をすべきと思うがいかがか。
答 検査の種類が多いためデータが多く、見づらく感じている。速報値や確定したものについては、今までどおりホームページ等で公表していく予定だが、公表の仕方については、図表の工夫などを考えたい。

防災・減災対策を 早急に！



はしもときよひと
橋本清議員
(一問一答)

問 3・11東日本大震災から1年3カ月が経過した。私たちが暮らす東海地方においても、いつ巨大地震が起きてもおかしくない。そのような事態にあつたとき、大切な命を守るため、今後の防災・減災対策を早急に進めていくことが重要である。

問 兵庫県西宮市が独自に開発した被災者支援システムを導入すべきであると考えられているがどうか。
答 兵庫県西宮市では、阪神淡路大震災発災後、

市の日常業務の復旧とあわせて、被災者を支援するシステムを構築し、復旧・復興業務に大きな力を発揮したと聞いている。大災害が発生した場合、優先的な業務を継続しながら、被災者支援や復旧・復興業務を進める必要がある。今後、被災者支援システムの導入について検討したい。

問 女性の視点からの防災対策として、防災会議への女性登用の考えはないか。
答 保健委員、日赤奉仕団、女性の防災リーダーなどの方々にお願いすることも考えられるので、検討していきたい。

問 市営霊園の今後は？
問 市営霊園が供用開始



供用開始となった「田代霊園」

問 今後の計画はどうか。
答 第2工区を建設する予定であるが、今後の需要を見ながら検討する。

問 状況に応じた販売方法も必要ではないか。
答 支払い方法を分割払いにする等、きめ細かなことを考えながら検討していきたい。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

市の公営駐車場の拡張は？



ほしのてつや
星野哲也 議員
(二問一答)

多くの市民の皆様は車で市役所へ来ているが、市役所110台、市民会館10台、おおるり40台ほどの駐車台数のため、催し物が行われる日は、駐車場の少なさから守衛さんも大変苦労している。

問 中央小公園西駐車場の拡張計画はあ

るのか。また、混合併用型の市役所駐車場の効率性・回転率の見直しを検討しているか。

答 中央小公園西駐車場の拡張計画はない。市役所の駐車場については駐輪場の移動を含めレイアウトを検討している。

多くの市民の皆様は車で市役所へ来ているが、市役所110台、市民会館10台、おおるり40台ほどの駐車台数のため、催し物が行われる日は、駐車場の少なさから守衛さんも大変苦労している。



「満車御礼」？窮屈な市役所駐車場

問 身体障害者用優先駐車場のスペースは十分か。パーキングパーミット制度の導入計画はあるか。

答 優先駐車場は5台あり、不足しているとの苦情もないので増設は考えていない。パーキングパーミット制度はいろいろ

な課題があるので当市では考えていない。
すぐやる課の業務内容は？
「すぐやる係」が発足して10年が経過した。「市民のニーズに迅速に対応し、安全で住みやすい生活環境作り」をモットーに市民目線での働きは評価する。
問 現在の「すぐやる課」の業務内容はどうか。
答 道路・河川等の維持・修繕と交通安全施設整備および市民要望等の調整に関係することである。
問 「何でもやる課」と誤解されることはないか。
答 個人要望が多くなってきた。また、以前は地域で行っていた道水路の草刈りの作業を要望してくる件数が多くなった。できる限り地元でできることは地元対応でお願いしている。
※パーキングパーミット制度とは、身体障害者専用駐車場の許可証のこと。

減災に向けた防災対策を



ひらまつよしのり
平松吉祝 議員
(一問一答)

予想される大規模災害の減災に向け、地域防災力を高めるために市の防災体制について伺う。

問 自治会とどのように連携しているか。

答 防災訓練や自主防災委員長会議、避難所運営会議等の機会をとおして情報の共有を図るとともに協力と連携を深めている。

問 協定書の再考はどうなっているか。

答 今後も多種多様な民間企業との協定書の締結を進めていく。
問 幼稚園、小・中学校における防災教育はどうなっているか。
答 児童、生徒が指示を待つだけでなく、状況に応じた自分はどう行動すればよいかを判断することを重点とした防災教育を、各園、各学校で進めている。
問 市の防災倉庫、自治会の防災倉庫は何力所あり管理体制はどうなっているか。
答 市内39カ所の避難所に屋外の防災倉庫や施設内に防災用の部屋があり防災課が管理している。自主防災会では1〜2カ所の防災倉庫を保有し管理もそれぞれで行っている。
問 備蓄食料、資機材は十分か。
答 十分であると考えられる。
問 資機材の点検、老朽化

による入れ替えは行っているか。
答 定期的に専門業者が点検し、毎年数台を更新している。
問 層の厚い防災リーダーの養成が必要ではないか。
答 防災士が27人いる。県の養成講座に市民も積極的に参加してほしい。
問 他市との防災協定の締結を考えているか。
答 当市は広域ネットワーク型の災害協定は締結していない。今後も締結の予定はない。



島田市阿知ヶ谷の防災倉庫

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

保育園の待機児対策を急げ！



さくらい ようこ
桜井洋子 議員
(二問一答)

問 4月現在、保育園の待機児が0歳から3歳までで9人出ているとのことだが、潜在的な待機児は多い。認可保育園を増やし、今後増加する保育需要に応えるべきだ。

答 本年度、増改築予定の保育園で定員を増加させる計画だ。また、若干余裕のある保育園にも定員増を働きかけていく。

問 待機児対策として導入した「保育ママ制度」だが、必要だ。委託料が少ないので、保育ママの賃金が低く、



溶融飛灰の埋め立て場（谷口の最終処分場）

待遇改善が必要だ。

答 「保育ママ制度」について、ホームページや広報で周知していく。委託料の見直しや必要な備品の購入、施設の改修等も合わせて、待遇改善を図りたい。

最終処分場の安全管理を徹底すべき

問 市の最終処分場には、

昨年原発事故以降、放射性セシウムを含む飛灰が埋め立てられてきたと推測する。その総量は数千万ベクレル以上にもなる。最終処分場は、傾斜地にあり、降雨で飛灰の覆土が削られたり、表流水が流れ出るなどの問題があったと聞く。どう対策をとったのか。

答 搬入路脇に溝をつけ雨水を平地に導水したり、場内に調整池をつくり対応した。また、土砂等の流出があれば、ゼオライトで吸着させる応急対策も考えている。

問 山田町の震災がれきの溶融飛灰は、仮置きされている。地元地権者や自治会と協定を取り交わし、同意を得るまで埋め立てすべきではない。

答 協定は取り交わす予定だ。地元からの要件提示に、できる範囲内で応えていきたい。

防災情報伝達を確実に！

しみずただし
清水唯史 議員
(一問一答)



問 同報無線難聴地区対策はいかにしているか。町内会の要望により、

問 F M島田との間に災

同時同報無線屋外子局を増設している。

問 金谷地区における個別受信機はデジタル化に伴い更新の必要があるか。
答 そのままアナログで今後も使用していく予定である。

問 災害発生時における島田市とFM島田の連携はいかにしているか。
答 災害時における放送協定を締結しており、FM島田に対して災害関連情報の放送を要請することになる。なお、市が臨時災害放送局を開設し、FM島田と協力して、災害関連情報を放送する場合もある。

問 本年度のSLフェスタの実施概要は。
答 10月5日から8日の4日間を検討している。会場を、大井川鐵道主要駅、ローズアリーナ、プラザおおるとし、内容については親子SL乗車体験、転車台手回し体験、ミニ鉄道体験などのほか全国を走るSLの写真を広く募集する写真コンテストを予定している。

問 金谷地区でのイベントの予定は。
答 金谷南地域交流センターと新金谷会場で金谷舞踊、金谷茶まつりの地踊りを披露するなど金谷地域が一体となった運営を考えていきたい。



文字でも情報の伝達ができる防災ラジオ

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

校舎・体育館など

学校の耐震を急げ



まつもと まつもと
きとし
松本 敏議員
(一問一答)

問 小学校で耐震性能がランクⅡと評価する学校はどこか。その改築や補強計画はどうか。

答 校舎は第一小、初倉小、川根小、第二小、第三小、第四小、神座小だ。体育館は第四小、大津小、伊太小だ。耐震対策は今年度は第二小の渡り廊下の補強、初倉小の補強計画の作成だ。川根小の建設計画は平成27年度までである。

問 全部の学校の耐震補強を早期に完了すべき。いつまでにやる計画か。



防災訓練で第二小学校の体育館に避難した住民

答 平成29年度までに行う計画だ。

の代表、公募、学識経験者の参加で、透明性を確保するべきだ。

答 各施設の設置目的や特性を熟知した者により、迅速かつ効率的に選定作業を進める必要性から市職員のみで組織している。選定結果は市民に公表すべきだ。

問 指定管理者制度の選定過程を透明にするようにしたい。

答 今後、選定結果は市のホームページで公表するようにしたい。

問 指定管理者を評価する事業評価制度がある。この評価者が指定管理者自身、市の担当課、市の部長級職員だ。これでは客観的な評価ができない。客観的に評価するため、評価者を市民の代表、学識経験者に参加を求めるべきだ。

答 現在は施設の担当部局以外の職員により評価している。指定管理者に客観的な評価をとる指摘だが、評価制度は昨年導入したもの。今後の運用過程で課題を整理し、学識経験者などの参加も検討したい。

議案に対するQ&A

市長から提出された議案に対し、4人の議員が5項目について質疑しました。以下、主なものを掲載します。

【議案第47号】

平成24年一般会計補正予算(第1号)

☆東日本大震災現地支援事業について

問 今回予定している受け入れ量は。

答 田代環境プラザの余力分を一日20トンとして、残り8カ月分、合計3千200トンを予定している。

問 測定場所、測定対象、測定頻度はどうか。

答 空間線量率は、田代環境プラザ敷地境界4カ所、大津小、伊太小、伊太なごみの里ほか近隣4カ所で月1回。放射能濃度検査は、溶融飛灰、スラグ、メタルを月1回、排ガスを週1回。最終処分場における放射能濃度検査として、放流水、原水、地下水を週1回、空間線量率の測定を敷地境界4カ所。また、土壌検査については伊太地区で4カ

所、最終処分場で2カ所を予定している。

☆青年就農給付金事業について

問 補助事業の概要は。

答 就農時の年齢が45歳未満の新規就農者に年間150万円、最長5年間給付を行う事業である。本年は2人の給付を予定している。

問 事業の目的は何か。

答 新規就農者は農業技術や経営力を身に着ける必要があることや、機械、資材の調達に資金が必要なることを踏まえ、経営が軌道に乗るまでの支援を行い、新規就農機会の拡大を図ることを目的としている。

☆(株)藤枝MYFC出資金について

問 市民スポーツへのメリットはあるか。

答 平成24年度の活動計画で、島田市が掲げる市民一人1スポーツの推進に向けた各事業を計画しており、市民スポーツの振興に貢献してくれると考えている。

☆リハビリ利活用促進事業について

問 ソーラーライト設置の目的は何か。

答 夜間利用者の視線誘導および安心・安全面などの向上を図るため設置する。また、夜間の災害時にマラソンコースを緊急避難路として活用する場合の視線誘導効果も期待できる。

問 ソーラーライトはどこに設置するのか。

答 島田大橋上流側から島田陸上競技場下流付近までの、約2キロである。

経済建設生活常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。
主な審査内容は次のとおりです。

☆H24一般会計補正予算(第1号)

○東日本大震災現地支援事業

問 災害廃棄物の受け入れに係る測定等の経費2389万7千円については、市の負担分が1千970万円で、国が約四百万円と聞いているが、この内容はどうか。

答 現在、国・県と協議中であり、国のガイドラインに沿ったものについては、国・県からの委託金として支払われる。それ以外のものは島田市の負担分となる。市の負担分の中でも国・県が対応する部分を協議しており、ガイドラインに沿った部分は、約四百万円である。

○社会資本整備総合交付金

問 横井中央線整備事業

答 藤枝MYFCへの出資金については、志太榛

○市民スポーツ振興事業

(株)藤枝MYFC(サッカーチーム)への出資金事業

問 藤枝MYFCへの出資金については、志太榛

などの街路整備事業等における財源の組み替えにより、社会資本整備総合交付金が一般財源に切り替わった理由は何か。また、一般財源が一億円余り増えたが、財政的に問題はなにか。

答 国の内示が東北の震災等により減額となり、その結果、一般財源に切り替える処置となった。この事業は、事業採択時に、国庫の交付限度額が確定されており、平成25年度末の事業期間が定められており、今年度減額となったが、来年度加算され、国費が内示される。

○社会体育施設運営事業

問 大井川河川敷トイレの購入は、設置数が二基とあるが、内容は。

答 旭町スポーツ広場に設置してあったバイオトイレが、一月四日に火災で焼失をしてしまい、そのかわりに、身障者用トイレと男性用トイレを一基ずつ設置する予定である。

○財産の取得について

「新島田シヨップングビル(おび・りあ)」

本件は民間が事業施行者となって実施した優良

建築物等整備事業の施設建築物である複合施設棟内の保留床を取得するもので、コンクリートが詰められた充填鋼管構造を採用した鉄骨づくり構造で、取得する部分は、一階の一部と、二階・三階・四階を合わせて、4千77・33平方メートルで、本体より区分、区分けをして、その床部分の所有権を取得するもので、本物件に係る土地については、定期借地となり、取得方法は、借地権のついた区分所有建物を事業施行者から購入するものである。

問 土地にかかわる瑕疵が生じた時、所有者が土地を抵当等に入れた場合、地上権がなくても、地役権そのものを持つているのと同じということではないのか。

答 借地権付の建物を購入することとなるため、取得する建物の敷地全てに借地権を設定、賃借権として登記し権利を所有することとなり、敷地使用の権利は法的にも担保されている。したがって、地役権と同等の権利を有しているものと考えられる。



おび・りあ西側からの外観



おび・りあの断面図

民生病院教育常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。
主な審査内容は次のとおりです。

☆H24一般会計補正予算(第1号)

○検診受診率向上事業

問 臨時職員2人を雇用して受診勧奨を行うとのことだが、どのようなことをするのか。
答 市内600事業所を訪問して受診勧奨をする。

問 現在の受診率と目標値は。
答 平成22年度は31.2%で目標は65%である。

問 この事業だけでは目標達成は困難だ。県の緊急雇用創出事業の補助金が目的なら無駄ではないか。
答 この事業だけでなく、健康カレンダーの配布、広報紙の掲載、FM島田への出演、各地区での出前講座なども考えている。また、市内のスーパリーの

レシートにPRの印字もしていただく。

☆H24病院事業会計補正予算(第1号)

○債務負担行為の補正

新島田ショッピングビル「おび・りあ」の賃貸住宅9部屋を10年間賃借するために、1億492万円を限度に債務負担行為を設定するものである。

問 退職した医師と新任の医師の数、医師住宅の利用状況はどうか。
答 年度末退職した20人のうち10人が住んでいた。新任は15人でうち5人が入居している。

問 退職した医師と新任の医師の数、医師住宅の利用状況はどうか。
答 年度末退職した20人のうち10人が住んでいた。新任は15人でうち5人が入居している。

問 現在、57戸の医師住宅があるが、あと何戸必要で、医師住宅の関係予算はいくらか。
答 工事費は、3億5千万円である。57戸のうち、約45戸が老朽化しており、整備したいと考えている。

問 医師でも持ち家や個人で借家している人もいる。家賃設定はどうか。
答 持ち家については、職員給与による住宅手当を支給し、病院所有の医師住宅居住者からは、負担金として支払いをしていただいている。負担金額は、広さや設備により算出している。

☆住民基本台帳法の一部を改正する法律及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

問 外国人が印鑑登録する場合、どのようになっているのか。
答 カタカナでの登録が可能であり、その場合、

ファーストネームとミドルネームの組み合わせでも可能である。

☆島田市立児童館条例の一部を改正する条例

問 これまでの中央児童センターの附帯設備(遊具等)は、どうなるのか。
答 市街地整備課が来年度の施設整備事業の中で、公園整備を計画している。児童課としても、引き続き子どもたちが利用できるように期待している。

☆島田市立図書館条例の一部を改正する条例

問 現在の図書館の利用は、どのようになるか。
答 所管が企画調整課になるが、関係課の協議では、平成25年度から何らかの利用を考えたい。

問 新図書館には、閉架書庫がないので、現図書館にある閉架書庫を使うという話があったがどうか。
答 現図書館は、1、2階部分で1千700平方メートルあるが、書庫の部分の200平方メートルくらいは新図書館の閉架書庫として利用していく。



8月5日オープンの「こども館」



9月22日オープン予定の新図書館

総務消防常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。
主な審査内容は次のとおりです。

☆H24一般会計補正予算(第1号)

○まちなか情報発信施設整備事業

問 備品購入費が1千100万円ということだが、サテライトスタジオの賃借料を計上しない理由は何か。

答 公共施設の一部を使用して情報発信事業を行う。FM島田と市との間で特段の賃貸借契約を結ぶものではない。

問 行政財産の目的外使用には当たらないのか。

答 行政財産の一部について使用する。その使用料については事業の公益性を考慮して特段の徴収をしない。

問 サテライトスタジオがあることによつて、まちづくりの活性化にどのように影響が出るか。

答 中心市街地交流拠点施設基本計画の中でまちなか

の交流創出を図るとしている。その一環として、地域情報の発信というところで、図書館のサービス、それから子ども館と連携を取った情報発信というものに心掛けてまちなかにぎわい創出に寄与していきたい。

問 オープン予定はいつごろか。

答 FM島田は、平成20年10月1日に開局して4年となる。その節目になるように、10月1日から当該スタジオを使っていきたい。

○住民投票条例直接請求費

問 新規事業の具体的な内容は何か。

答 5月13日から署名活動が始まっている、中部電力浜岡原子力発電所の

再稼働の是非を問う県民投票の条例の制定のための直接請求を県に対して行うことになっている。それに関連した署名の内容、有効・無効等の審査をするための経費である。

問 署名審査経費のうち委託料の内容はどうか。

答 島田市で約6千件の署名があると予想している。それらの署名を20日間以内で処理をしなければならぬ。適切に行うために、署名の中に重複したものがないかなどチェックするパソコンシステムを導入するための委託料である。

○地域情報化推進基金

問 地域情報化推進基金がFM島田への広告料や手当になっているが、ほかの使い道等、考え方はどうか。

答 平成23年度までにFM関係で7千200万円を取り崩した。平成24年度の事業では、電子自治体の推進経費や光ファイバ網の整備事業など、額は少ないが、こうしたものにも事業の財源として

使っている。

☆島田市火災予防条例の一部を改正する条例

問 条例改正に当たって上位の条例や法令はあるのか。

答 省令が平成24年3月22日に公布されたため、島田市火災予防条例の一部を改正するものである。

問 電気自動車の急速充電設備に関する条例を定めたということで、島田市内にこの充電設備が設置されるという可能性はあるのか。

答 届け出の義務がないため市として把握はしていないが、業者等に確認したところ、現時点では島田市には急速充電設備はない。しかし、この下のランクの普通充電設備は存在している。



10月1日オープン予定のFM島田のスタジオ



電気自動車の急速充電設備 (富士山静岡空港)

特別委員会の最終報告

防災対策に関する特別委員会

東日本大震災等を踏まえた「防災対策に関する特別委員会」および「コミュニティバス等の「公共交通に関する特別委員会」の調査・研究について、平成24年6月1日の本会議において、次のとおり最終報告を行い、承認されました。

これをもって、特別委員会が終了しました。(報告内容は要点のみ)

当委員会は、東日本大震災を踏まえ、発生が危惧される東海地震や東南海・南海地震との3連動巨大地震の発生に備え、また、その他の風水害等による災害から市民の生命や財産を守るため、より一層の防災対策の推進を図るべく議会としても調査・研究すべきこととして、平成23年7月1日に設置されました。

以降、当局関係課、島田市自治会長連合会役員との意見交換、阪神・淡路大震災における被災地の事例等4カ所の視察研修を行い、11項目の提言をまとめました。

市への提言（要約）

- ①災害時要援護者の避難支援について、要援護者台帳のより一層の活用をすること。
- ②避難所等の位置情報の充実を図ること。
- ③一次避難所以外の避難所の扱いについて規定すること。
- ④避難所運営に女性の視点を取り入れること。
- ⑤自主防災会が持つ資機材の円滑な更新を進めること。
- ⑥地域の防災リーダーの育成・積極的な活用をすること。
- ⑦同報無線のあり方・広報のあり方について検討すること。
- ⑧原子力防災に関する対策の充実を求める。
- ⑨災害時の行動について確認できる小冊子を配布すること。
- ⑩公共物の耐震化を進めること。
- ⑪災害対策本部機能の充実を求める。

以上を特別委員会として、提言しました。

公共交通に関する特別委員会

島田市のコミュニティバス等公共交通の在り方に関する当委員会の検討経過ならびに結果について報告します。

1 調査経過

- ・市の現況について市民安全課からの聞き取り調査
- ・民間バス会社、民間鉄道会社からの聞き取り調査
- ・市内自治会長連合会との意見交換および聞き取り調査
- ・先進地視察

2 調査結果による課題

- ・川根・北五和・島田北部地域における公共交通の効率的な運行の必要性
- ・公共交通空白地域解消方法の検討
- ・市民の公平性を保つことの重要性
- ・民間事業者との共存共栄を図ることの必要性
- ・デマンド型タクシー導入の必要性と運行方法の検討

3 検討結果と提言

- ①伊久身線・相賀線は川根・川口線も含め、路線・運行の効率化を平成24年度に繰り上げ検討すべきである。
- ②川根・川口線は、試行運転をいつまでも続けるべきではない。地元NPO法人などの運営による自主運行も含め検討すべきである。
- ③六合南線は、北線と同様に廃止もやむを得ない。デマンド方式による対応も検討すべきである。
- ④湯日線・大津線のばらの丘への延伸の成果は、実証運行の結果により運行を検討する方針は評価する。
- ⑤島田駅東線・夢づくり会館線・田代の郷温泉線は、運行回数、時間や経路など平成24年度に見直しの検討をすべきである。
- ⑥大代線は、廃止も含め運行形態を検討すべきである。
- ⑦市内全域での公共交通空白地域の解消のため、利用率の低いコミバスの路線へ、デマンド型乗合タクシーなど先進地の例を参考に導入を検討すべきである。

以上を特別委員会として、提言しました。

採決結果一覧

氏名	藤本善男	八木伸雄	村田千鶴子	曾根嘉明	橋本清	仲田裕子	星野哲也	桜井洋子	杉村要星	佐野義晴	紅林貢	原木忍	清水唯史	平松吉祝	小澤嘉曜	中野浩二	富澤保宏	大石節雄	松本敏	坂下修	福田正男	河原崎聖
◎会派名 新生=新生しまだ 維新=維新塾 清流=清流会 創造=創造島田 共産=日本共産党島田市議団 公明=公明党島田市議団 明政=明政会	創造	創造	新生	新生	公明	清流	清流	共産	維新	維新	維新	明政	創造	新生	新生	新生	公明	清流	共産	維新	維新	明政
H24島田市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H24島田市水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H24島田市病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
住民基本台帳法の一部を改正する法律及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
島田市税条例及び島田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
島田市立児童館条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
島田市立図書館条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
島田市火災予防条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別委員会の設置について(議会改革に関する特別委員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別委員会の設置について(地域活性化に関する特別委員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長(溝下一夫)は、採決に加わりません。(議席順)

平成24年度補正予算を可決
一般会計 9937万2千円を追加

6月定例会は、平成24年6月1日から6月29日までの29日間で行われ、上程されたすべての議案が可決・同意されました。

正・副議長選挙、常任委員会等の委員選任

6月定例会初日の6月1日に正・副議長の選挙が行われ、議長には溝下一夫議員、副議長には村田千鶴子議員が選出されました。

また、任期満了により議会運営委員会および3つの常任委員会の改選が行われました。

平成24年度一般会計補正予算(第1号)

一般会計補正予算では、「新島田ショッピングビル(おび・りあ)内に設置されるFM島田スタジオの整備経費」、「中部電力浜岡原子力発電所の再稼働の是非を問う県民投票条例制定の直接請求に係る署名審査の経費」、「がん検診・特定健診受診率向上のための経費」、「東

監査委員 平松吉祝
公平委員会委員 櫻井二六
次の委員の任命に同意しました。

教育委員会委員 高橋典子

次の委員の諮問を適任としました。
人権擁護委員 入屋 稔

特別委員会の設置

議会改革に関する特別委員会、地域活性化に関する特別委員会の2つの特別委員会が新たに設置され、議会だより編集等に関する特別委員会も含めたそれぞれの委員が選任されました。

条例の一部改正

◆島田市立児童館条例の一部改正

「おび・りあ」内のこども館が平成24年8月に開館し、島田市立中央児童センターを閉館するため、条例の一部を改正しました。

◆島田市立図書館条例の一部を改正する条例

「おび・りあ」へ島田図書館が移転することに伴い、位置を変更するため条例の一部を改正しました。

財産の取得

一般会計補正予算は、全員賛成により可決されました。

「おび・りあ」の1階、2階(図書館)、3階(図書館)、4階(こども館)の一部、取得総面積4千77・33㎡を8億3200万円で購入する島田ショッピングビル建設組合から取得することについて全員賛成で可決されました。

人事案件(敬称略)

次の委員の選任に同意しました。

議決結果一覧

○全員賛成で可決・同意・承認

平成24年度会計補正予算のうち

島田市一般会計補正予算(第1号)

島田市水道事業会計補正予算(第1号)

島田市病院事業会計補正予算(第1号)

住民基本台帳法の一部を改正する法律及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について

島田市税条例及び島田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

島田市立児童館条例の一部を改正する条例について

島田市立図書館条例の一部を改正する条例について

島田市火災予防条例の一部を改正する条例について

市道路線の認定について

市道路線の廃止について

財産の取得について

監査委員の選任について

教育委員会委員の任命について

公平委員会委員の選任について

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

特別委員会の設置について(議会改革に関する特別委員会)

特別委員会の設置について(地域活性化に関する特別委員会)

議員派遣について

専決処分した事件の承認について(島田市税条例の一部を改正する条例)

専決処分した事件の承認について(島田市都市計画税条例の一部を改正する条例)

○その他

専決処分の報告について(物損事故に係る和解)(2件)

一般会計予算の繰越しについて(繰越明許費)

病院事業会計予算の繰越しについて(建設改良費の繰越)

駿遠学園管理組合議会議員の選挙

議会報告会の開催報告

〔開催日〕 平成24年5月19日(土)・26日(土)

堀之内・北地区多目的集会施設 参加者：7人

コミュニティサロン金谷北 参加者：11人

島田市議会主催の「市議会報告と市民との意見交換会」を市内6会場で開催しました。
今回は、これまでの報告会で市民の皆さんから寄せられたご意見を参考に「防災について」、「地域の課題について」をテーマに意見交換を行いました。

市議会報告に対する主な質問・意見

- 病院の移転は、駐車場や患者の環境を考えるとまちなかでは疑問だ。
- 市の広報を発行前に市民が内容を審査できないか。
- 新東名の騒音が、夜間10時から12時ころにひどい。対策をお願いしたい。
- 新図書館は、1階の店舗利用者に駐車場が使われ、不足しないか疑問である。
- 意見交換会での主な意見
- 防犯灯をLED化した場合に補助金の交付ができないか。
- 北五和に公衆無線LANを整備してほしい。
- 集落道路の照明が節電により消されている。点灯してほしい。
- 共同調理場が廃止されるが跡地利用は。

市議会報告に対する主な質問・意見

- 防災メールは、高齢者への周知が難しいのではないか。
- 停電時の情報が不足している。
- FM島田の活用を図るべきではないか。
- 意見交換会での主な意見
- 駿遠橋の耐震強度に不安がある。
- 川根小・中学校は、避難所としての耐震性能は大丈夫か。
- 災害時の医療体制は大丈夫か。
- 集会場を有料化するという情報があるがどうか。
- 大井川水路橋の活用時間の在り方の再考はできないのか。
- 報告会の周知が少ない。地元議員の配置ができないか。

島田市役所会議棟

参加者：15人

- 市議会報告に対する主な質問・意見**
- 金谷駅のバリアフリー化は国の補助があるからやるのか。
 - メッセは知事が代わって問題もあるようだが、事業はこのまま進むのか。
 - 陸上競技場の総事業費は幾らか。また、建設目的は何か。
 - 陸上競技場は大学誘致のために造るのか。
- 意見交換会での主な意見**
- 大地震でダムが決壊することを考えたことがあるか。
 - 東海地震が起きた場合、ボランティアセンターは、おおるりではなく、中央公園などに置くべきではないか。
 - 大地震のとき、中心市街地は住宅の倒壊率が高いとのことだが、そのような所へ病院を移転して良いのか。
 - 病院建設については、市民の公聴会を行うべきではないか。
 - 病院の移転は駐車場だけが問題なのか、どう考えているのか。

野外活動センター山の家

参加者：17人

- 市議会報告に対する主な質問・意見**
- 光ファイバ網整備は、過疎地域だからこそ必要であり、対象外とせず進めてほしい。
 - 病院移転では、駐車場の確保や待ち時間の解消を望む。移転後の跡地に高齢者の福祉施設を整備してほしい。
- 意見交換会での主な意見**
- 川口―長島間や発電所前の道路整備に時間がかかりすぎている。敏速にお願いしたい。
 - 危険地域の崩落防止工事は、1軒であつてもできるように、要件緩和をお願いしたい。
 - 「山の家」が避難所になっているが、近くに中部電力の導水管、水槽があり、危険ではないか。
 - 議会として、浜岡原発の安全確保についての要請を毎年してほしい。(静岡県・中部電力に)

初倉西部ふれあいセンター

参加者：59人

- 市議会報告に対する主な質問・意見**
- 新ホームページシステムASPは問題なく利用できるのか。
 - メッセは造ることが決まっているのか、造る理由がはっきりとしない。
 - 防災計画や原子力災害への対応は、どうなっているのか。
 - 国からの災害情報はどうなっていくのか。
 - 光ファイバ設置には、NITでユニバーサルサービス料を取っているのだから、サービスが行き届かないのはおかしい。
 - 川根温泉の滞在型宿泊施設は採算がとれるのか。
 - 災害時のボランティア受け入れには、プラザおおるりだけでは対応できないと思うので検討したい。
- 意見交換会での主な意見**
- 湯日地区の公共交通体形について金谷、湯日、島田駅をつなぐバス路線がほしい。島田市全体の計画はどうなっているのか。今のままでは病院へも行けない。
 - 震災がれきが初倉の最終処分場に仮置きされているが、今後の埋め立てで放射能の大井川への流出、地下への浸透が大変不安である。

コミュニティサロン金谷南

参加者：15人

- 市議会報告に対する主な質問・意見**
- 空港周辺プロジェクトについて
 - 県知事が代わってメッセ建設は、どうなるのか。
 - 展望台は造るようだが、メッセ未定のまま事業を進めてよいのか。
 - 市は県に対して、主体的に計画を提示していくべきではないか。
- 意見交換会での主な意見**
- 東海地震に対する防災体制は、どうなっているのか。
 - 地域の防災力アップを考えてほしい。防災会の育成や市から助成をしてほしい。
- 市民病院の移転について**
- ジャスコ跡地は液状化になりやすく、延焼危険度も高い。現在の場所では駄目なのか。
 - 中心市街地までは信号が多く、救急車の進行も心配である。
 - 病院を中心市街地に移転しても、活性化にはつながらないのではないか。

特別委員会を設置しました

議会改革に関する特別委員会

市議会では、議会は地方自治の一翼を担う存在として、市議会および議員の活動についての基本理念および市民と議会、議会と市長とのそれぞれの関係を示した「島田市議会基本条例」を平成21年4月に制定し、議会報告会の開催や会議の公開など、常に市民の中にあり、開かれた議会となるべく議会改革の取り組みを進めてきました。

この議会基本条例の施行から3年が経過し、条例の目的である「市民の福祉の向上と市制の持続的な発展に寄与すること」の実現のためには、開かれた議会を目指すとともに、議会運営の在り方についてもさまざまな角度からの検証が必要となっています。

このため議会は、市民と議会の関係において開かれた議会をより推進するための方策および執行機関との関係における議会の監視機能の充実について調査研究を進めるため、議会改革に関する特別委員会を設置しました。

委員長	富澤保宏		
副委員長	藤本善男		
委員	村田千鶴子	曾根嘉明	
(議席順)	仲田裕子	星野哲也	
	佐野義晴	原木忍	
	小澤嘉曜	松本敏	
	坂下修		

地域活性化に関する特別委員会

島田市の平成22年の高齢化率は25.7%となっており、10年後には31.6%となると予測されています。また、人口も減少傾向にあることから島田市の人口問題は今後ますます顕在化することが予想されます。

中心市街地においては商業等の空洞化や人口の低密度化の現象がみられており、市域の多くを占める中山間地域においては、人口の流出による過疎化や農業等の後継者不足など、多くの問題に直面しています。こうした状況は、地域社会および地域経済に与える影響は非常に大きく、市全体の活力の喪失が懸念されることから、将来を見据えた何らかの対応を考えていくことが必要不可欠となっています。

こうしたことから、市議会では中心市街地および中山間地域が抱える多くの課題について、県および市の取り組みを考慮しつつ、将来にわたりこれら地域の活性化への課題解決に向けた調査研究を進めるため、地域活性化に関する特別委員会を設置しました。

委員長	清水唯史		
副委員長	大石節雄		
委員	八木伸雄	橋本清	
(議席順)	桜井洋子	杉村要	星
	紅林貢	平松吉	祝
	中野浩二	福田正	男
	河原崎聖		

編集後記

平成24年第2回定例会では、新たに議会構成が代わり、議会だより編集等に関する特別委員会の委員も改選されました。新たな委員で、議会だよりの編集発行を行うことになりました。これからの、議会活動の様子が市民の皆様にとつて分かりやすく、また、身近な議会広報紙になるよう、委員一同、一層努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。



議会だより編集等に関する特別委員会

- 委員長 橋本清
- 副委員長 曾根嘉明
- 委員 八木伸雄
- 星野哲也
- 紅林貢
- 原木忍
- 松本敏

島田市議会事務局 ☎ 36-7204
 Eメール: gikai@city.shimada.shizuoka.jp
 ホームページ: http://www.city.shimada.shizuoka.jp/gikai/gikai_top.jsp